

AWS入門～第3回～

保守入門編

Copyright © 2017 PUratio All Rights Reserved.

自己紹介

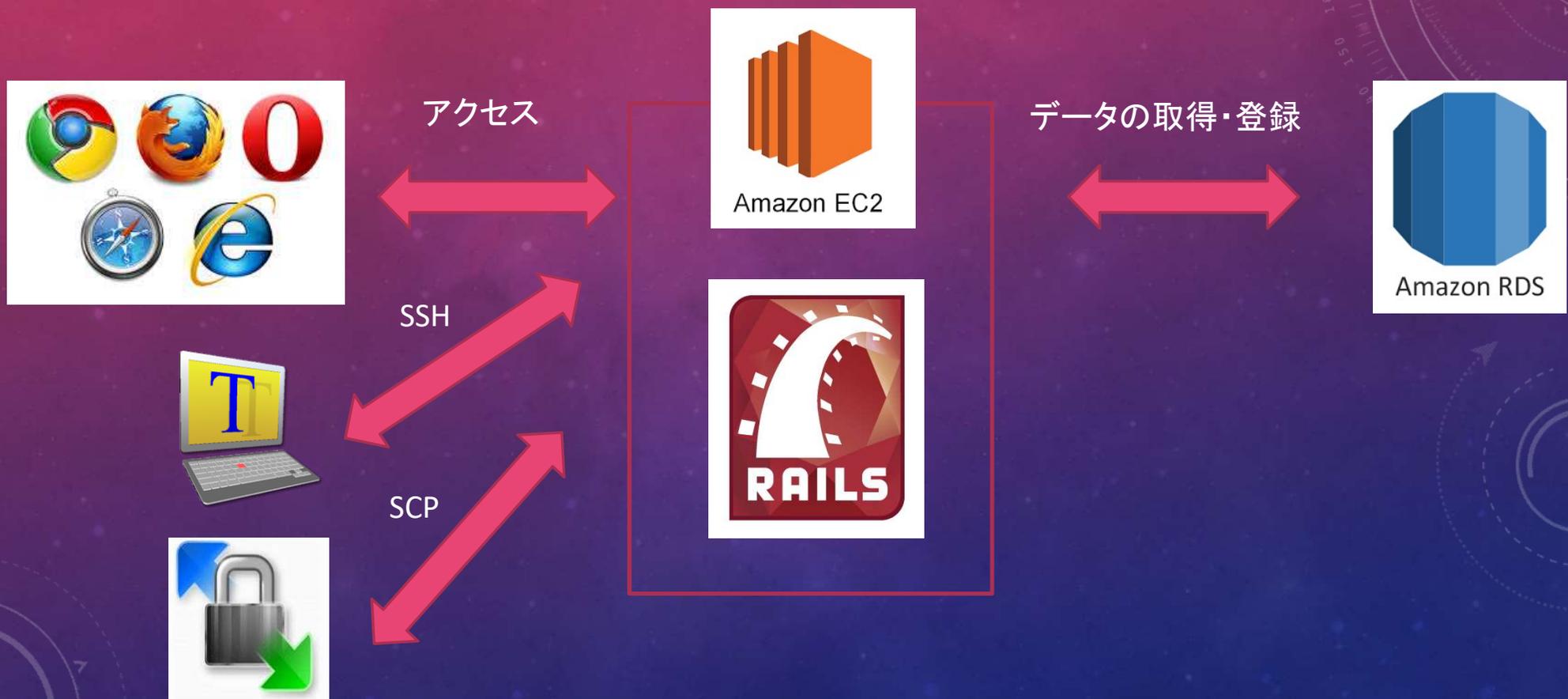
- 重本 尚志
- 略歴:
 - 徳島大学工学部卒業(2008-03)
 - 独立系IT企業に新卒として入社(2008-04)
 - C#やJavaを中心(クラサバ多め)に案件を転々とする。
 - 退職・独立(2017-01)
- 趣味:トレーディングカード収集
- 好きな食べ物:奈良漬、味噌ラーメン
- 最近買ったお酒:ドラゴンフルーツの梅酒
- 先月かかったAWS料金:0.86\$



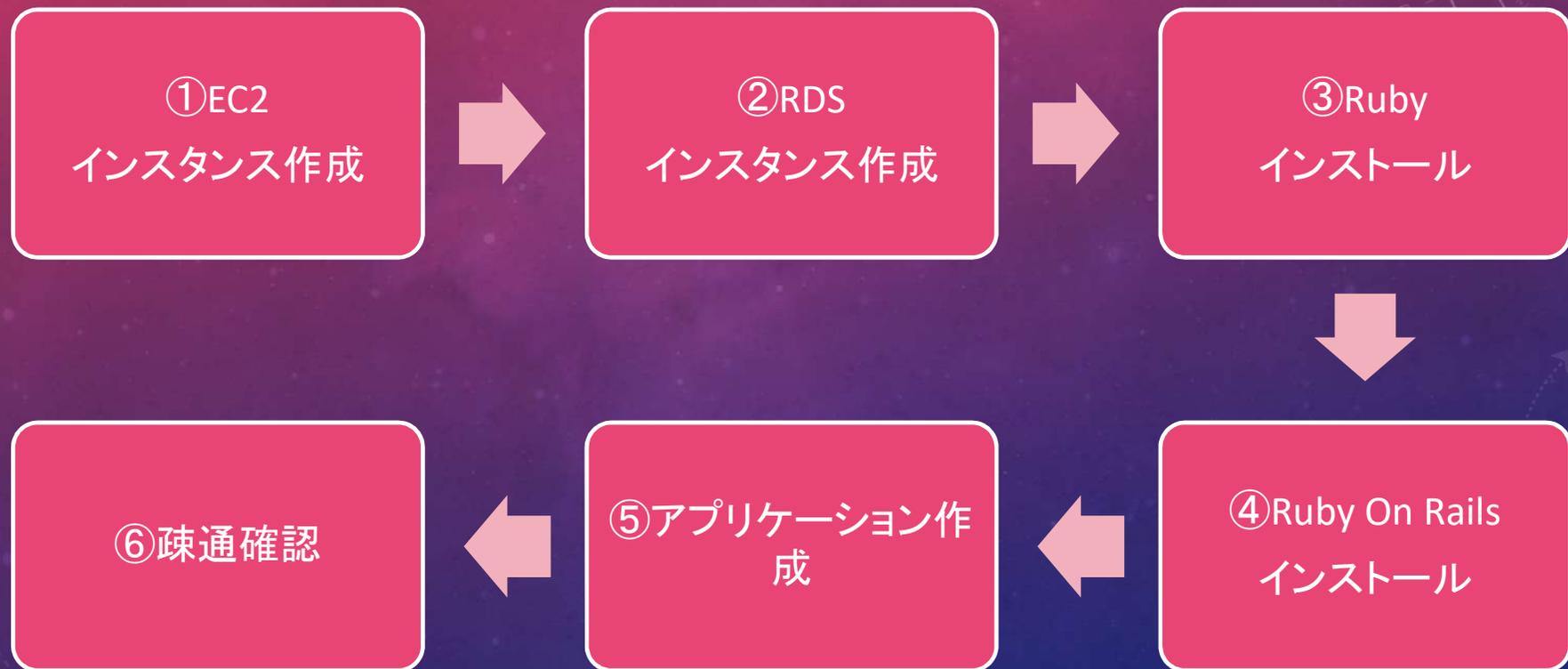
目次

- 前回のおさらい
- 本日の内容・目的
 - CloudWatchについて
- CloudWatchによるEC2監視設定手順
- RDSバックアップ手順

前回のおさらい①



前回のおさらい②



本日の内容・目的

- 内容
 - EC2のログをCloudWatchで監視し、アラートを利用した通知を行う
 - RDSのバックアップ手順の紹介
- 目的
 - 基本的なCloudWatchでのEC2ログ監視手順を理解する
 - RDSのバックアップ手順(スナップショットの設定)を理解する
- 今回利用するサービス
 - AWS CloudWatch
 - AWS EC2
 - AWS RDS

AWS CLOUDWATCHとは

AWS CloudWatchとは

- AWSクラウドリソースとAWSで実行するアプリケーションをモニタリングするサービス
 - EC2モニタリング
 - その他AWSリソースのモニタリング
 - RDS、DynamoDB、EBS、SQSキュー、SNSトピック、etc...
 - カスタムメトリクスのモニタリング
 - ログのモニタリング
 - アラーム設定
- 毎月の無料枠が存在する
- ダッシュボード、監視対象EC2インスタンス、メトリクス、アラーム、APIリクエスト、イベントの数およびログ取り込み容量で料金が決まる



AWS CLOUDWATCHとは

AWS CloudWatchの無料枠

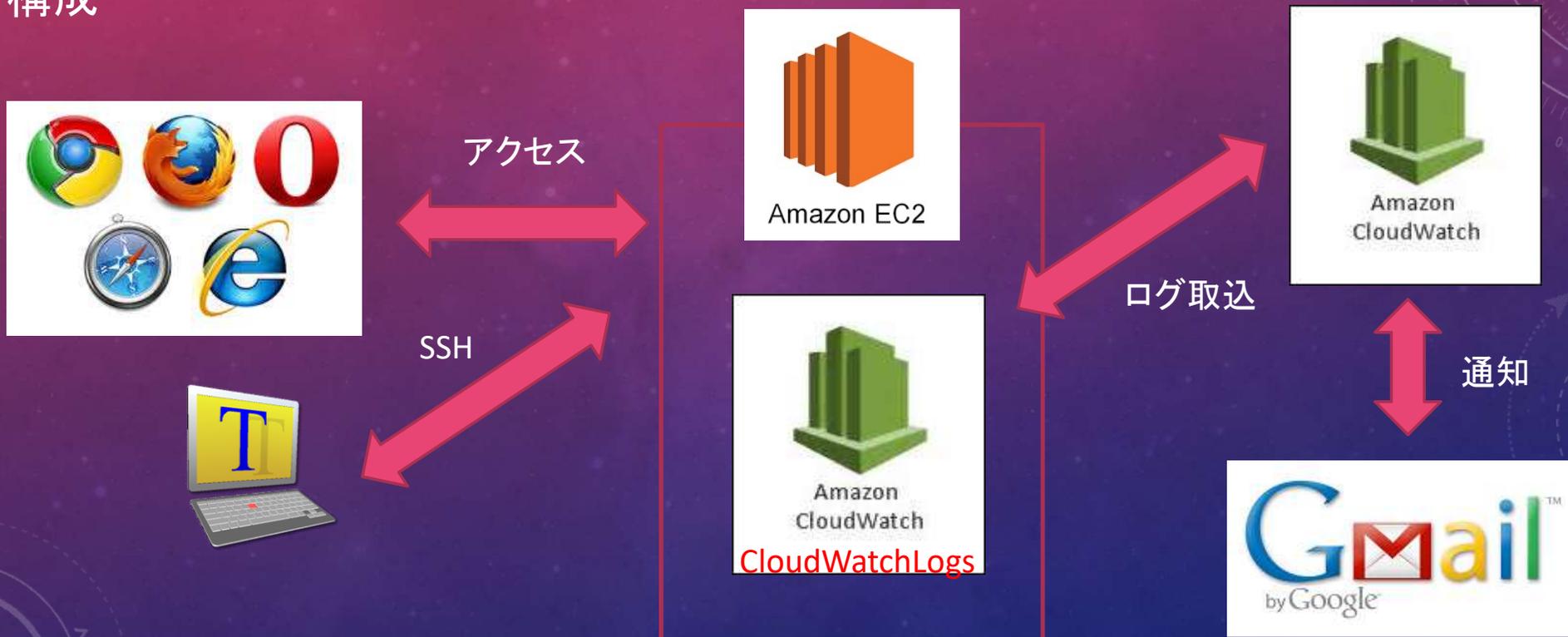
- 10個のカスタムメトリクスおよび10件のアラーム
- 100万件のAPIリクエスト
- 5GBのログデータ取り込みおよび5GBのログデータのアーカイブ
- 毎月最大50メトリクスのダッシュボード3個

AWS CloudWatchの無料枠は12ヶ月間のAWS無料利用枠期間終了後も利用できる。

- <https://aws.amazon.com/jp/cloudwatch/pricing/>

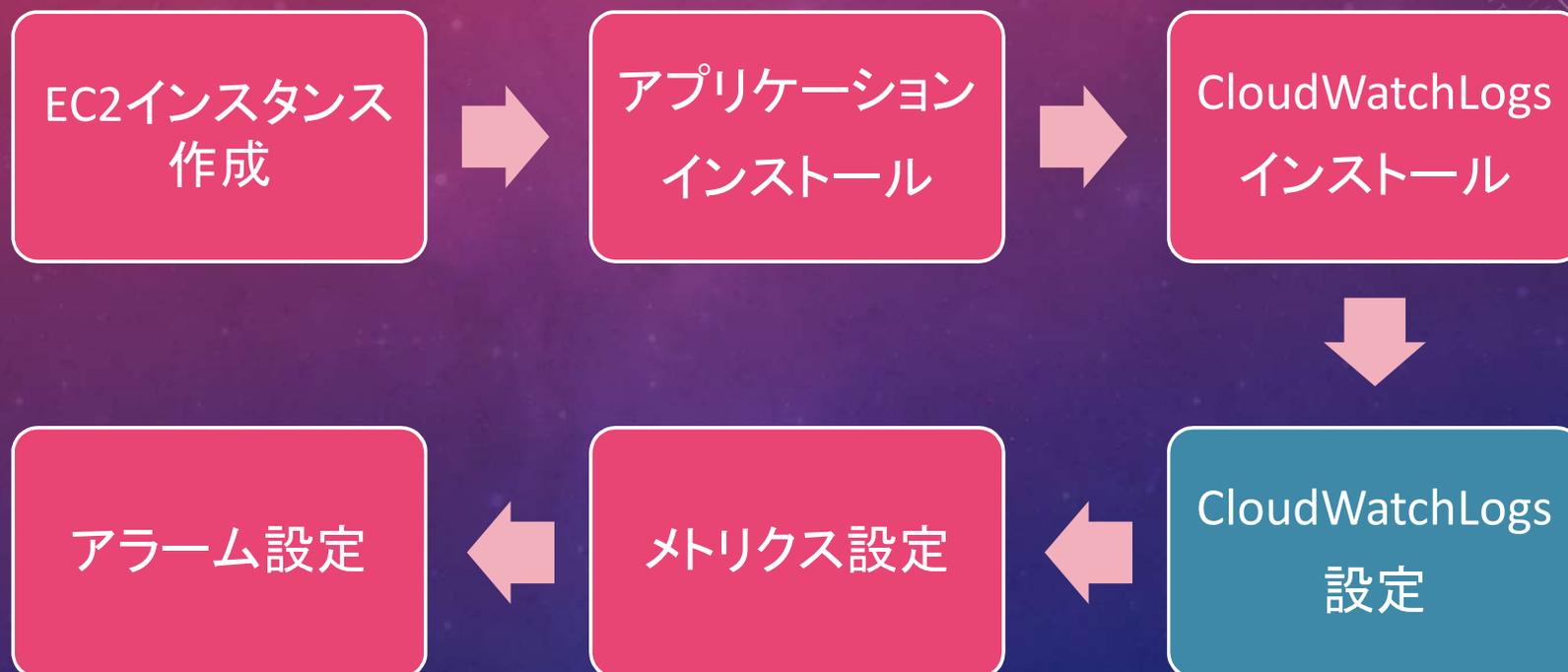
CLOUDWATCHによるEC2監視設定手順

構成



CLOUDWATCHによるEC2監視設定手順

設定手順



CLOUDWATCHによるEC2監視設定手順

CloudWatchLogs設定手順



RDSのバックアップ設定・復元

構成



AWS Management Console

バックアップ設定・復元



SSH

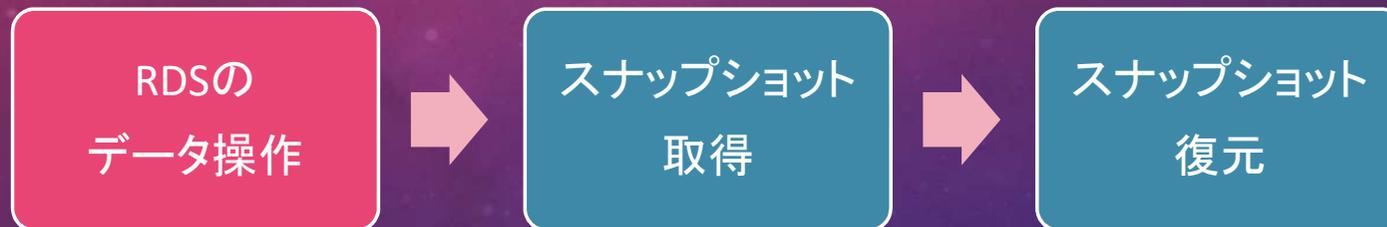


データ操作



RDSのバックアップ設定・復元

手順



RDSのバックアップ設定・復元

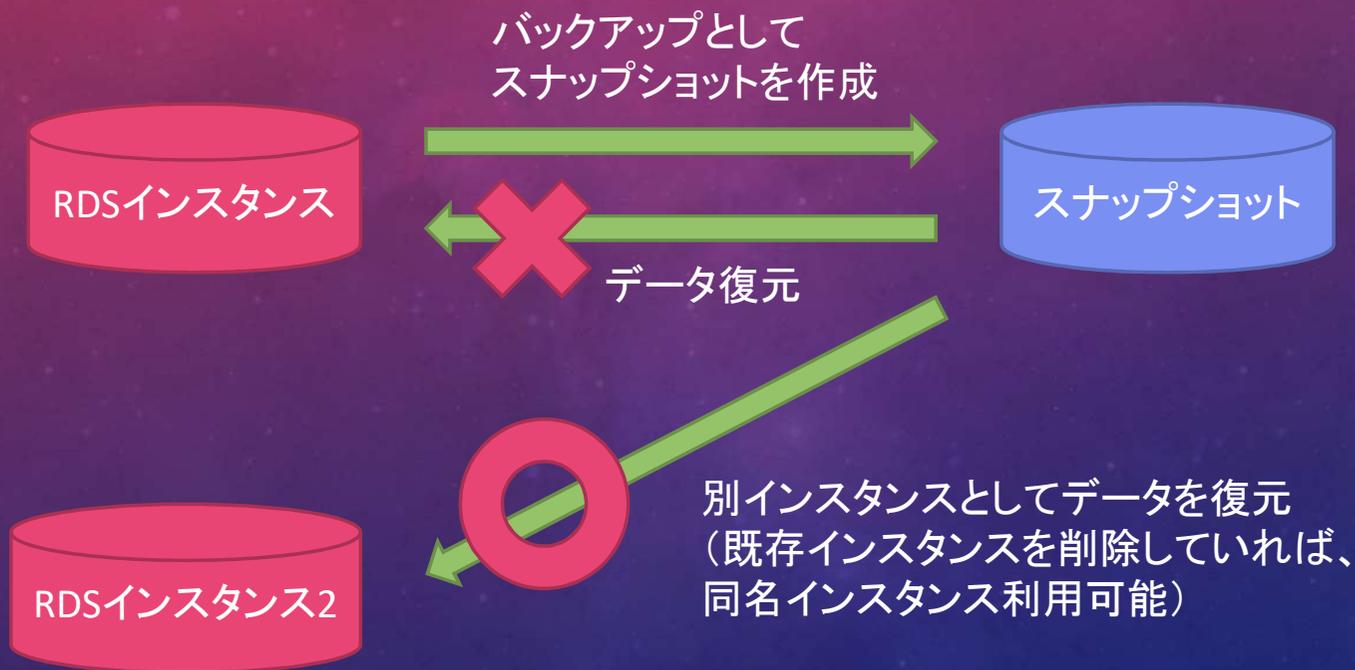
スナップショットの取得

- 取得できるタイミングは下記の通り
 - 手動で随時
 - RDSインスタンス停止時
 - RDSインスタンス削除時
 - 定期バックアップ

スナップショットは、個別テーブル指定ではなく、DBまるごとバックアップというイメージ

RDSのバックアップ設定・復元

スナップショットの復元イメージ



RDSのバックアップ設定・復元

スナップショット復元時の注意

- バックアップ保持期間0日のRDSインスタンスからは、データ復元できない場合がある
- セキュリティグループ等のパラメータがデフォルト状態で復元される
- 既存インスタンス名で復元することはできない
 - ただし、削除済みであれば既存と同じインスタンス名を利用可能
- DBを丸ごとバックアップするため、容量に注意が必要
- http://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER_RestoreFromSnapshot.html

まとめ

- CloudWatchによるEC2の監視
 - CloudWatchLogsで対象ログの読み込み設定を行う必要がある
 - アラームの閾値を超えてはじめて通知が行われる
 - アラーム分解能については、1分未満(高分解能)だと別途料金が発生する
- RDSのスナップショットからのデータ復元
 - 既存インスタンスに対してのデータ復元はできない
 - 別インスタンスとしてデータが復元される
 - 既存インスタンスを削除しておけば、同名インスタンスで復元できる
 - パラメータが初期設定で復元される

ご清聴ありがとうございました。